

ヴィオラの想い

HEL会長 三沢 正博



私は高校時代音楽クラブで、ヴィオラを弾く真似ごとをしたことがある。終戦直後で、腹を空かしてやった弦楽合奏が、どんな音を出していたのか、録音

機などない時代だから、幸わせなことに、何の証拠もない。

ヴィオラという楽器は、ヴァイオリンより一廻り大きく、音程が五度低だけで、殆んど見分けがつかない。セロやコントラバスは、形は似ていても、だんぜん大きく、弾き方も違うので、すぐ分かる。ヴィオラは、オーケストラの中でも、セロの後の方において、遠目には、ヴァイオリンと区別がつかないし、素人には、旋律を華やかに奏でる第一ヴァイオリンやそれとかけあうように共鳴する第二ヴァイオリン、それから、腹にこたえるリズムを裏打ちするセロやバスとの中で、いったい、どんな音を出しているのか、殆んど聴きとれない。

ところが、弦楽四重奏（第一、第二ヴァイオリン、ヴィオラ、セロ）などになると、同じようにヴィオラの音は、なかなか聴きとれないのだが、ヴィオラが音を出さないと、文字どおり「間」が抜けて聞こえるから、実に妙だ。全然、目立たないのだが、さて、全然無いとなると、全体がぼやけてしまう、縁の下の力持ちという言葉があるが、ヴィオラは力持ちでもない。自身は、哀調を帯びた、むしろ軟弱な音を出す。

さて、おまえは何を言いたいのかと叱られそうだから、これ以上、書かない。

札幌市中央区南1西3札石ビル5F

北海道エスペラント連盟

★★★

中央オフィス学院 気付

(編集者) 高橋要一, 小林貴美子, 宮井康夫

私は30年も教職にあるが、今まで「長」のつく役について、うまくいったためしがない。HELの会長をとすめられた時に、とんでもないと思った。どうしてもと乞われて、ふと思いついたのが、ヴィオラの役目ということだった。

テンポの速すぎるこの時代に、10代の娘さんから70代の長老までが一堂に会して、学習するエスペラント会というのは、それだけで現代の奇蹟と映る。いや、これがエスペラントの世界なのだろう。そこには新しい意味の長幼の序があり、若い者は苦難の戦中を生き抜いてきた長老を深く尊敬し、長老は長老で若者から若いエネルギーを受けとっている。日本の社会から失われつつある三世同居の世界がここにはある。

この世界だとて、放っておいて、いつもうまくいくとは限らない。

単に民族間の結び役のみならず、世代間の結び役として、軟弱だが、静かに奏でていることが、オーケストラをなり立たせるというのなら、ヴィオラの役目も悪くはない。

長老、中老諸氏も、10代の青春諸氏も、遠慮なく、自分自身を奏でて欲しい。現代は、不協和音も音楽になる。

第49回北海道大会終る!

本大会は既報の通り9月7~8日の両日に亘り、道内から29名、東京から3名の参加を得て盛會裡に開催された。

(HEL大会特集号を参照されたい。)

第50回大会は本年9月6~7日札幌市で開催の予定、後報をお待ちを。

札幌でザメンホフ祭

昨年12月14日15時からクリスチャンセンターで開催、出席35名このうち旭川からの女性3名と札幌大学ロシア語教授マリア、クリヴオンキナ女史の参加もあって盛会であった。同女史のエスペラントによる詩の朗読、相沢治雄氏のエスペラントでのアイヌの民謡詩サンパヤ、テレケは圧巻、有志によるエスペラント劇は大拍手であった。ほんとに楽しく有意義なZ祭であった。これを契機として更にエスペラントの活発化を祈るものである。

☆ ☆ ☆

北京大会参加準備学習会

世界エスペラント大会に参加して、一定の成果をおさめるためには話す、聞くの能力と大会に関する一般的知識を得ておくことがよいと思います。幸い同学先輩に大会参加経験者もいるのでその方々を講師に集中的な学習を計画しました。

具体的なプログラムは次のとおりです。大会参加に関係なく奮ってご参加ください。

- ①期間：1月18日～大会出発前まで毎週土曜日
- ②時間：午後3時～5時まで2時間（時間厳守）
- ③場所：クリスチャンセンター3階（ホレンコ）
- ④スタッフ：企画・進行係・三沢、椿

専任講師・北畠、非常勤講師・児玉、星田
※講師の方は世界大会参加経験者です。尚従前のオフィス学院の中級講座は当分休みます。

⑤学習参加要領：

- (a) 日本語会話禁止(但し、3時から5時の間)
・この禁止を破ると反則金を一語につき10円を支払うこと。
・進行係、講師の説明が理解できない場合は説明者に限り日本語の使用が解除される。
- (b) 教材は、進行係又は講師において準備する。
- (c) 会費は月に大会参加者1000円・その他500円。
(教材、講師の交通費、お茶代として)

会話の上達法

札幌市 きむら きみはる

テキストUnuaを消化することから始めよう。

- ① 和訳をkajeroに書き込んで下さい。
(テキストの1頁は訳文も1頁に収める) 4課、5課と進んでいくと、的確な訳語を見つけるのに結構苦勞します。(こんな筈ではなかったと思うぐらい) 自己能力の再発見です。
- ② 次に、テキストを声を出して読みます。頭の中で考えているように正しい発音は出来ないのので終始声を出して、自分自身に聴かせるのです。自分の耳を馴らすのです。rとl、bとvなど自身が驚くほど正しく出てこないのです。読みながら訳文が連想されれば、第1段階は終了です。
- ③ 訳文を書いたkajeroを開いて、声を出してエス訳をします。②で消化されていると、さほど、むづかしくない筈ですがどっこい、そうはいかない。例えば、fakaj gazetoj (5課) を和訳したとき、ずっと出てきたのが、「専門雑誌」のエス語は、となると、すっとは出てこないのです。今日はどうやらできたのが、数日たつと、また、つまづくのです。
- ④ この繰返しをやってテキストUnuaのambaŭflankoが消化できたときは、初歩の会話が身についているのです。Kiu dato estas hodiaŭ? が身につければ、Kiu dato estos morgaŭ? も理解でき、答えもすぐできます。Ĉu ne? 次々に新しいテキストで勉強することも大事なことです。基礎ができていなくては、むだが多くなります。並行してテキストUnuaを十分消化しましょう。大きい声で発声しましょう。

E s p 学習にも

発想の転換を！

苫小牧市 北島 瞳

“S-roO!” “Jes!” “F-inoX!”
“Jes!” “S-inoS!” “Jen Sn-
jo estas ĉi tie!”

これは一昨年バンクーバの世界大会へのポーランドからバスカラパーノで一泊したシアトルでの人員確認の一コマ。それぞれが自分の名前を呼ばれて簡単に“Jes”で応えている中で、これは完全な返事でしょう。しかし、これで一瞬その場がシラケてしまったのはいうまでもありません。ハナシコトバとは前者のことだと思います。言語としてのコトバは文法的にあやまりのないものでなければいけないということを否定するつもりは毛頭ありませんが、私達日本人は日本語以外では忠実に基本を守らなければ話せないと思いつちであり、これまでその方法でコトバを学び続けて来た結果は皆さん周知のとおりだと思います。

「発想の転換が必要」とすべての分野で言われています。

北京スペシャルコースが三沢HEL会長指導の下にスタートしました。シャベル方も聞く方も初めての試みです。学習歴もさまざま、参加の方に満足が行く様にと心を砕いて下さっています。

先輩諸兄は出席することでkomencantojを勇気づけていただければと思いますし、komencantojは最初はほとんど聞き取れないで苦痛かも知れませんが、せっかくスタートさせたのです。お互いにルールを守って成果が上がるようにしたいものです。

新刊案内

☆「北海道エスペラント運動史」改定版 第一部
再編集者 相沢治雄 ¥1000

☆「エスペラント国世界旧婚旅行」

文・大原たかし 絵・大原歌子 ¥1000

「お疲れでしょう」

のあいさつは？

苫小牧市 星田 淳

Z祭で「おつかれでしょう」はどう表現するのかの話がありました。表現の勉強として考えるのはいいのですが、外国人に対してこの日本的表現で、意思がちゃんと伝わるかどうか？

民族によって挨拶の表現はちがいで、日本では普通の「行きます」「いただきます」「ごちそうさま」など、特に言わないのが普通、という所も多いのです。標題の例のような表現だと、「自分はそんなに疲れて見えるのか」と心配させたり、「早く切上げて休まねば」と思わせるかも知れない。NHKテレビのロシア語講座で「直訳に御用心」として、全く同じ例を注意していました。

“御苦労さんでした”

札幌市 高橋要一

Z祭で何か喋れと言われてお話ししたなかで、挨拶言葉として旅行から戻った人への挨拶として普通は“御苦労さんでした”と言うが、これは“お疲れさんでした”とゆう意味と解してJavi estas tiel lacigita pro la vojaĝo!と言ったらどうだろうかと述べたところ、星田さんからNHKテレビのロシア語講座のテキストを添えて御注意がありました。外国人が必ずしも日本人と同じに感ずるとは限らないのでということです。テキストによればこれでは、疲れたような顔つきでもしているのだろうか、わが身を案ずるかもしれない、とゆうことです。言われてみればそれももっとものことと思います。こんな言い方はどうでしょうか：Mi tre ĝojas vidi vin en bona sano, kvankam vi vojaĝadis tiel longe!
御指摘に対して星田さんに深謝いたします。

楽しかったザメンホフ祭

千歳市 渡辺康子

花の中年真ただ中の私！老後の生きがいの一つとしてエスペラントの学習に挑戦してみようと大決心。昨年5月から札幌E会の入門講座に愛する主人をほったらかしにして、千歳市から毎週土曜日にはエンヤコラ…と通いはじめました。

初めのうちはエスペラントって割りとやさしいなあ…この調子なら私もなんとか続けられそう、そんな気がして張り切っておりました。

初級講座になってからは、勉強法が異なり戸惑った面もありましたが、最近はずいぶん慣れて少しは自信もついてきたようにおもいます。

ただ会話になると途端に口がつぐんでしまい、おしようになってしまう自分にあきれられるばかりですがおくせずについていこうと思います。

初級講座の北畠 隲先生の「継続は力」の言葉に励まされ、また、ステキなおじさま、可愛い弟や妹たちに勇気づけられて、毎週土曜日がくるのをたのしみに通おります。

そのような皆様方とのあたたかい触れ合いの中でのザメンホフ祭は、とても印象深い思い出となっております。

前の年の今頃と、こんなにも変ってしまった自分自身が、ザメンホフ祭に参加していることが非常な感動であり不思議に思う程でした。

ひとつの言葉を架け橋として、こんなにもなごやかにおしゃべりし、歌い、食べ、心から笑いあえる仲間、なんと素晴らしいことでしょう。

その仲間の一人が私であることに、たとえようもない喜びを感じたものでした。

この感激を胸に秘めながら、その上達はカメよりも遥かに遅い私ですが、これからも、あの世に召されるまで学習を続けたいと思っております。

そして近き将来、千歳の子供たちにこのすばらしいエスペラントを教えるようになれば……と夢みながらー。

日本語をよく知っている外国人の言葉

- ① 言葉は、まず最初に会話があって、それを表記するために文字ができ、後に学者が分析して文法ができた。
- ② 文法の勉強と語学の勉強は等しいと考えたら錯覚だ。
- ③ 文法を出発点にすることは間違いといいでしょ。
- ④ 辞書に頼りすぎるのは危険。
- ⑤ 日本人は、物事を断言するよりも、まず、ゆっくり背景を説明して、それから本題に入るとい性格、あるいは、生活形態をもっている。
これは本紙N-ro, 6に登載されたものであるが参考になればと考えて採録した。(J)

来訪Esp-istoへの対応について

札幌での場合、以前から来訪された方々には極力意を尽して応対していたが、外国人の場合は概して帰国後に何等の挨拶もない人が多い傾向である。折角こちらでいろいろ心をくざいても、これでは時間と費用の無駄遣いである。殊に自腹を切ってくれた方々に申訳がない。今後は、先ず本人のプランを確かめて、それに沿って対応するようにしたら如何だろう。それから予め観光、見学に適当な所を二、三選定しておいてほうがよいのではないだろうか。その箇所に関する知識をesp.で説明する準備もしておいたほうがよいと思う。(J)

編集後記

Heroldo de HELのN-rollからnovmembrojで編集し、お届けすることになりました。年一回の大会だけでなく、この一葉がHELの皆様のパイプ役として十分にfunkciiすることが出来るように努めます。Eに関するnovaĵoや、御意見、近況報告など、どしどしお寄せ下さい。(K)